2025秋
議会報告特別号

豊中市議会議員

りっけん豊中市政NEWS

井上ひろみニュース

～子どもまん中!もっと良い豊中!～

急な冷え込みにとまどうこの頃、服装選びにも悩みますね。冬支度にもお金がかかり、買い物に行けば去年より明らかな値上げを感じます。10 月 21 日、高市新総理が誕生し、7月の参議院選挙以来の政治空白からようやく政治が動き出しました。与野党拮抗であることには変わりなく、与党は一つ一つの政策において丁寧な、開かれた議論をせざるを得ません。以前のような数の力で押し通すことはできず、いわば正常な、あるべき姿の政治だといえます。まずは国民の暮らし・物価高対策、そして企業団体献金の廃止や税の在り方など、山積する諸課題を前に進めるための国政に期待したいと思います。

さて、豊中市議会ですが 10 月 19 日に 1 名の議員辞職がありました。個人トラブルによる一身上の都合ということで、とても納得しづらいものです。これにより、34 名の議員定数から現在は 2 名の欠員となりました(1 名は昨年6月にご逝去)。市民・国民の代表である議員の定数をどう調整するかの議論には様々な論点があり熟議が必要ですが、選挙で選ばれていながら個人的な理由でやめたり、失職したりというケースは論外です。期待を込めて投票した有権者の思いを踏みにじることは決して許されません。

実現しました!　寄せられたご要望をもとに、議会質問等を行い実現に至りました

小中学校体育館のエアコンが稼働!

一昨年 9 月の本会議で要望していた「公立小中学校体育館へのエアコン設置」が実現し、2 学期から本格的に使えるようになりました(一部の学校ではすでに 4 月から使用されています)。授業やクラブ活動が、暑さを気にせず安心して行えるようになり、子どもたちや保護者の方々から喜びの声が届いています。

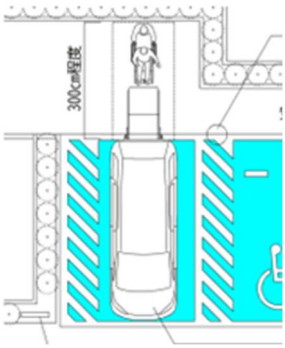
体育館は学校の施設であると同時に、地域のイベントや災害時の避難所としても使われる場所です。空調設備は、命を守るためにも欠かせないものです。

今回の整備には約 43 億円という大きな予算が必要でしたが、「緊急防災・減災事業債」という制度を活用することで、国から約 70%相当の交付を受けることができます。近隣の市に比べると少し遅れましたが、ようやく実現できたことを評価したいと思います。

市役所内に車いす使用者用駐車場が新設 ～さらに国へ働きかけも～

今年 3 月の本会議で要望していた「車いす使用者向けの駐車場」が、8 月に豊中市役所内に 2 か所設置されました。 福祉車両や、車の後方から車いすを取り出すタイプの車は、後ろに十分なスペースが必要ですが、これまで市役所内にはそうした車に対応できる駐車場がありませんでした。今回、要望から半年も経たずに設置した豊中市の迅速な対応はとても喜ばしいことです。 また、党の国会議員とともに国土交通省に設置基準の表記改善を申し入れたところ、図表の差し替え等の対応を行うと回答がありました。

後ろにスペースが必要なことをご理解ください!⇒



住民の方のご要望から看板が設置されました

中桜塚 1 丁目のこの電柱の先を左に曲がると、約 50 メートル先から道幅が急に狭くなり、普通車では通り抜けがほぼできません。私も実際にバックで戻りましたがとても苦労し、誘導がないと厳しいと感じました。近くにお住いの方からは「1 日に何度も車を誘導しています」「バックで戻るのは危険で対策して欲しい」とのお声があり、市の基盤保全課と検討。電柱の管理者(関西電力・NTT)に確認の上、表示の設置が実現しました。合わせて、「一般財団法人日本デジタル道路地図協会」にもカーナビ表示の改善を伝えました。

議会報告

6月 本会議質問

部活動の地域移行について

**学校から地域へ、中学校の部活動が変わる？
運営責任の所在はどこに？ 子どもの安全は？
丁寧な意見集約と課題の明確化が必要**

学校の部活動にどんな思い出をおもちでしょうか。私は中学生の頃、運動が苦手なのに友人に誘われてバレーボール部に入部しました。3 年間、正直“向いていない”と感じながらも続けた部活動は、今振り返ると私の人生に大きな影響を与えてくれました。

そんな部活動のあり方が、今、豊中市で変わろうとしています。すでに神戸市や池田市、箕面市などでは導入が予定されている「部活動の地域展開」という仕組みがあります。これは、これまで中学校の教職員等が顧問として指導していた部活動を、地域の指導者や民間クラブが学校の施設などを使って担うというものです。背景には、「生徒数の減少」や「希望する種目の多様化」、そして「教職員の負担が限界に近づいている」こと等があります。今後、同様の取り組みを進める自治体はさらに増えていくと考えられます。

今回、地域展開に移行する際の課題について質問しました。具体的には、①責任の所在はどうなるのか ②市による地域クラブのチェック体制 ③生徒がトラブルを相談できる窓口の明確化 ④保護者の負担（費用・送迎など）といった点です。実施の検討にあたっては、子ども、保護者、地域、そして教育現場の声をしっかりと聞きながら、慎重に進めるよう強く要望しました。

中学校の部活動がどう変わっていくのか、ぜひ注目していただければと思います。

パートナーシップ宣誓証明制度

世論調査でも同性婚の法制化を容認すると回答する人が多数に。当事者の方々に困難や生きづらさが生じた場合の相談対応の充実を要望

今年 3 月、大阪高等裁判所は、同性どうしの結婚が認められていないことが憲法に違反するかどうかが争われた裁判の 2 審で、「性的指向による不合理な差別だ」として、1 審とは逆に「憲法に違反する」という判断を示しました。

多くの自治体では、性的マイノリティ当事者の方が、お互いを人生のパートナーとすることを宣誓された事実を、公に証明する制度を実施しており、本市では今年 3 月 1 日に「豊中市パートナーシップ宣誓証明制度」が導入されました。

多様性の尊重を掲げ人権擁護都市を宣言する本市としては、もっと早期に実施されるべきであったとの思いから経緯の説明を求め、宣誓者数の実績や制度のメリットについて質問を行いました。（詳細は上記の QR コードから↑）

2025（令和 7）年度、常任委員会は

総務常任委員会に所属します

常任委員会は議会の付託を受け専門分野に関する議案を審議します。所掌は総務部・都市経営部・都市活力部・財務部・会計課・選挙管理委員会・公平委員会・監査委員・農業委員会・消防局と多岐にわたります。

6月の委員会では、特定親族特別控除」の創設に伴う条例の一部改正や eLTAX を活用した公金収納について等質疑を行いました。詳しい内容は上部の QR コードからご覧いただけます

豊中市伊丹市クリーンランド議会議員に選出されました

クリーンランドは豊中市と伊丹市の両市域で排出された家庭系のごみや事業系の一部を受け入れ、焼却・破砕・選別などの中間処理を行う清掃工場（一部事務組合）です。議会は組合を構成する 2 市の市議会から選出された合計 13 名（豊中市 7 名、伊丹市 6 名）の議員で構成されています。クリーンランド議会の役割は、クリーンランド条例の制定・改廃のほか、予算の議決・決算の認定等を担っています。

森の中の再生工場
豊中市伊丹市クリーンランド
Toyonaka Itami Cleanland

学校図書館のあり方について

豊中市が全国の先駆けとなった図書館司書の全校配置（2005 年）は市民の強い要望をきっかけに学校、教育委員会が強調し実現した誇れる施策。今後の方針は？

豊中市が目指す学校図書館のあり方とともに、小中学校に各一人、義務教育学校においては前期過程と後期課程に各一人配置されている『学校図書館司書』が安心して専門性を活かして勤務する為の「環境整備」を求めました。学校司書の役割は多岐にわたり、近年では学校現場の ICT 化による情報リテラシー教育への対応も求められています。また、教室での人間関係から距離をとる子どもたちの「心の居場所」としての役割も大きく、図書館で過ごす子どもたちの教室とは異なる様子を教員と共有しています。

しかし豊中市では、重要な職務と認めつつ学校図書館司書の雇用形態は「任期付短時間勤務職員」、いわゆる非正規職員です。

「官製ワーキングプア」という言葉が広まって認知されてきました。本来、市民の暮らしを支える立場にある行政が、結果として“働く貧困”を生み出してしまっている状況を指します。学校以外の公務の現場でも、正規職員の業務を支える非正規職員や委託職員の存在が欠かせません。ところが、その多くが低賃金で不安定な雇用に置かれています。

背景には、行政の「効率化」や「財政健全化」という名のもとで進められてきた人件費削減があります。正規職員の採用を抑制し、非正規に置き換えることで一時的にコストは下がりますが、そのしわ寄せは地域で働く人々を直撃します。結果として、仕事の質の低下や人材の流出につながり、行政サービス全体の信頼を損なうことにもなりかねません。真に持続可能な行政とは、現場で働く人が安心して暮らせる仕組みをつくることから始まります。行政はコスト削減の対象として「人」を見てはいけないのです。またこの状況を放置すれば、人材の確保が難しくなることは間違いありません。学校図書館司書にとどまらず、社会福祉職の有資格者をはじめ、非正規職員の待遇改善やキャリア形成の仕組みづくりは、自治体の差し迫った課題です。

9 月 本会議質問

他に、市の施設を小学生の社会見学にもっと活用できるよう「バス代補助」の提案や、すでに摂津市で行っているひとり親世帯への医療費補助の拡充について質問を行いました

豊中市には、市の歴史や文化にふれることができる施設が豊富にあります。郷土資料館とよみゅー、人権平和センター豊中の平和展示室など。また豊中伊丹クリーンランドの見学は環境への意識を高めるきっかけとなります。大人はもちろん、小学生の社会見学の訪問先としてさらに利用されるよう、交通の便や展示工夫など視点を拡げ工夫が必要です。

郷土資料館「とよみゅー」
豊中市に残る歴史・文化財に関する豊富な資料を保存・活用しています
庄内栄町 5-4-14
06-6334-2551

戦争の惨禍と平和の尊さを後世に伝え、平和で平等なまちづくりのため、空襲に視点を置いた展示室
人権平和センター豊中
3 階 岡町北 3-13-7

10 月 決算委員会

市が行う事業は、一般会計だけで千三百以上に細分化され、それらが年度初めの計画通り実行されたか議会が審査した上で認定となります。私が審査の過程で注目した中に、滞納された市税や保険料の督促業務があります。債権回収は市の財政を守るために重要な取り組みですが、モラルが低く支払いを拒むケースと、生活困窮などにより支払えないケースとでは、対応の在り方が大きく異なることは言うまでもありません。督促は市民の困窮の声に耳を傾ける機会でもあります。困難な状況にある方が「しんどい」と言える環境づくりを市が大切に考えていくことを確認しました。また、消防局には 2024 年に開設された「北大阪消防指令センター」について、共同運用で得られた成果と課題について説明を求めました

北大阪消防指令センターは大阪北部 5 市 2 町を管轄し、対象人口は約 114 万人。豊中市は初期に 10 億円を費用負担しましたが、従来の豊中・池田運用で更新するより 3 割節減となりました。また共同運用で生み出された人員で毎日勤務救急隊※を発足することができたのも市民の安心につながる成果といえます。（※救急出動件数の多い平日の日中にのみ稼働する救急隊）

活動記録

（主なものを抜粋しています）

活動報告はフェイスブック
「井上ひろみ」で発信しています。
ぜひご覧ください。

4/26 連合豊中地区メーデー

6/1 政策政治勉強会 in とよなか

竹林整備に参加しています

9/27･28 敬老の集い

9/16 姉妹都市サンマテオ市来豊団

9/2 とよなか国際交流フェスタ

10/24 高齢者レクリエーション大会

8/6 原爆パネル展

4月
- 5日 大阪関西万博会場下見
- 11日 視察･尾道図書館(広島)
- 17日 「障害」児･者の生活と進路を考える会例会
- 19日 立憲民主党大阪常任幹事会/立憲アカデミー大阪
- 21日 ヒューマンライツ自治体議員の会 にしなり隣保館視察

5月
- 3日 ふれあいフェスティバル
- 15日 「障害」児･者の生活と進路を考える会例会
- 17日 立憲アカデミー大阪
- 19日 蛍池こども食堂
- 23日 豊中平和連帯会議護憲集会
- 31日 つながろう集会

6月
- 2日 ジェンダー平等推進委員会
- 3日 豊中駅前まちづくり協会定例総会
- 7日 退職教職員協議会交流の集い
- 11日 国土交通省へ要望行動
- 13日 豊中私立幼稚園 PTA 連合会大会
- 19日 「障害」児･者の生活と進路を考える会例会
- 24日 立憲民主党女性議員ネットワーク online 研修会
- 25日 第 14 回豊中市民生委員･児童委員大会
- 27日 豊中市教職員組合第 151 回定期大会
- 28日 国障年豊中市民会議/豊中駅街宣
- 30日 立憲民主党女性議員ネットワーク online 研修会

7/12 千里川アクアユートピア

7月
- 3日 豊中こども財団幼児教育･乳幼児保育懇談
- 4日 立憲近畿学生チーム意見交換会
- 11日 平和連帯会議定期総会
- 13日 ヨドバシカメラ前街宣
- 22日 2025 平和･非核行進
- 27日 箕輪公民分館盆踊り
- 31日 総務常任委員会千代田区･前橋市視察

8月
- 6日 被爆パネル展開会式
- 23日 「障害」児･者の生活と進路を考える会例会
- 26日 企業団体政策政治意見交換会
- 29日 議会防犯講習会

9月
- 2日 SNS 政治勉強会
- 5日 高齢者文化祭
- 14日 摂津市議選応援
- 21日 立憲大阪常任幹事会
- 27日 敬老の集い

毎月定例 豊中駅での街頭活動

10月
- 3日 豊中市戦没者追悼式
- 16日 「障害」児･者の生活と進路を考える会例会
- 23日 阪急観光バス労働組合第 68 回定期大会
- 25日 くらしかん祭り
- 27日 高齢福祉研究部会研修会

8/26 企業団体政策政治意見交換会

7/25 つばさ公園 ma-zika 視察

8/25 尼崎市「いくしあ」視察

10/27 大阪府県本部防犯講座

皆さまの暮らしのお困りごと、ご相談、ご意見などお気軽にお寄せください。

■連絡先 …… 豊中市中桜塚3-1-1（市役所） 06-6858-5050・070-9113-6542
MAIL：inouehiromi18@gmail.com WEB：inoue.cdp-osaka.jp

発行元：りっけん豊中 発行日 2025年11月5日 vol.13 ※この市政報告は政務活動費を活用しています

LINE公式、インスタグラム他SNSやホームページの情報をまとめています。ぜひ繋がってください！